



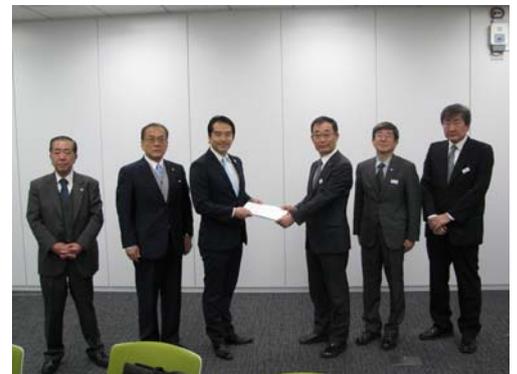
首都圏新都市鉄道株式会社（TX）に対し、「つくばエクスプレス東京駅延伸と利便性向上に係る要望書」を提出しました

<項目> (あてはまるものすべてにチェック)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> イベント・会議等の事前周知依頼 | <input type="checkbox"/> イベント・会議等の取材依頼 |
| <input checked="" type="checkbox"/> イベント会議以外の事業の周知依頼 | <input type="checkbox"/> 参加者募集の告知依頼 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

<概要>

茨城県つくばエクスプレス三市推進協議会(つくば市, 守谷市, つくばみらい市)において、首都圏新都市鉄道株式会社へ「つくばエクスプレス東京駅延伸と利便性向上に係る要望書」を提出しました。



●相手方

首都圏新都市鉄道株式会社
柚木浩一 社長 ほか

●期日 平成 29 年 3 月 27 日 (月)

●内容

※画像データ提供可

平成 28 年度活動として、三市で、要望内容(別添参照)を伝えた。これを受け、首都圏新都市鉄道(株)柚木社長から、「要望内容は、それぞれ課題として認識している」と述べたうえ、4項目それぞれについて現状の説明があった。

意見交換の中で、五十嵐つくば市長及び片庭つくばみらい市長から、「子育て世代が多いエリアであり、特に、(4)通学定期等の運賃引き下げについて特段の配慮を」と強く要請し、また、橋本守谷市副市長からはTXの東京駅延伸実現の際の都心直結線との合築等、具体的なイメージなどについての質問を行い、引き続き課題解決に向け検討を重ねることとなった。

首都圏新都市鉄道株式会社
代表取締役社長 柚木浩一様

つくばエクスプレス東京駅延伸と
利便性向上に係る要望書

守 谷 市

つくばみらい市

つ く ば 市

つくばエクスプレスは開業から12年目を迎え、平成28年度において、1日あたりの平均乗車人員は、35万人を超える実績を上げており、首都圏鉄道網においても非常に重要な路線となっております。

今後も鉄道利用者を継続的に確保するためには、つくばエクスプレスの東京駅延伸など更なる利便性と快適性の向上が必要になります。

つきましては、我々もより魅力あるまちづくりを推進し、沿線への定住促進と企業誘致に誠意努力してまいりますので、貴社におかれましても、更なる鉄道利用者の利便性向上のため、以下の4点について、強く要望いたします。

(1) つくばエクスプレスの東京駅延伸について

つくばエクスプレスの東京駅延伸については、新東京駅周辺の他路線との接続により、利用客の利便性とつくばエクスプレス沿線のポテンシャルの向上に大きな効果があると期待しております。

つくばエクスプレスの東京駅延伸実現化のためには、日本再興戦略に位置づけられた都心直結線や都心部・臨海地域地下鉄構想と一体整備することが効率的・効果的であることから、更なる利便性の向上と貴社により一層の経営安定化に向け、つくばエクスプレスの東京駅延伸を早急に事業化いただくよう要望いたします。

(2) 茨城県内の利便性向上について

現在、つくばエクスプレスの快速列車につきましては、通勤快速列車

が研究学園駅へ停車するなど、一部について利便性の向上が図られているところではあります。

しかしながら、茨城県内における快速列車の停車駅は、2駅のみであり、沿線利用者からは、他駅への快速列車の停車を求める声があがってきております。特に、研究学園駅周辺は、つくば市庁舎が位置し、機能的に市政の中心であり、つくば市の副都心として発展を続けております。また、みらい平駅のあるつくばみらい市は、成長力ランキングで全国トップクラスの評価を受けるなど、今後も大きく発展を続ける地域であります。これら2駅は、守谷駅と合わせて今後の茨城県南地域でのまちづくりの核となる駅でありますので、研究学園駅の快速列車の停車及びみらい平駅の通勤快速列車の停車を要望いたします。

(3) 車両編成の8両化について

つくばエクスプレスについては、沿線地域で進められている開発事業の進捗に伴い、鉄道のより一層の混雑が予想され、貴社も今後3年間の車両の増備及び一部車両のロングシート化等、輸送力増強を実施することとしています。更なる利便性の向上と貴社のより一層の経営安定化に向け、車両編成の8両化を事業化いただくよう要望いたします。

(4) 通学定期等の運賃引き下げについて

沿線地域では、進められている開発事業の進捗に伴い、良好な住宅地が供給され、子育て世代の皆様には選ばれる地域となっていることから、

今後もつくばエクスプレスの学生利用がより一層進むと考えられます。

しかし、つくばエクスプレスの通学定期運賃は、中学生・高校生・大学生とも同一料金で細分化されておらず、その割引率もJRと比較して低く、子育て世代にかかる運賃負担が重荷になっております。

鉄道経営の安定が第一義であるということは言を俟たないところでありますが、通学定期運賃等の見直しを検討いただくよう、要望いたします。

平成29年3月27日

守 谷 市 長

松 丸 修

久



つくばみらい市長

片 庭 正

雄



つくば市長

五 十 嵐 立

青

